廿二日 夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四 印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）平休

上遠野村全村民が 協力して更生策

聯合農實組合を組織し 實行事項を申し合す

上遠野村は經濟更生村には指定されてゐない村であるが自發的に經濟更生を計る事となり大字深山田農事實行組合組合員（百十名）外全村の農事實行組合が協議の結果聯合農事實行組合を組織し組合員は毎月十錢宛を貯金する事、道路を改修する事、毎年六回以上農事研究會を開く事、共同購入を行ふ事等を申し合はせ吉田聯合組合長は毎朝五時に自ら板木、大鼓を打ち鳴らし早起きを奬勵する等經濟の自力更生に努力する事になつた。

平町會 附議事項

平町會は二十六日午後一時から開き左の諸件を附議し終つて忘年會を催ほす

▲小學校基本金運用
▲九年度歳入出追加豫算
▲水道給水料變更（片倉製糸磐炭）
▲會計規程改正
▲戸數割訴願に對する辨明
▲第一校飛行機賣却
▲寄附採納
▲警備委員推薦
▲市制施行調査委員推薦
▲都市計劃區域決定諮問

二十年前に死んだ 息子に徵兵の通知

驚いた父親平署に出頭

内郷村大字綴字沼尻三〇石炭拾ひ似鳥勝治（九八）は去る大正三年郷里岩手縣岩手郡淺岸村に居た際二男耐道が變死した際警察官が檢視したから役場の死亡届は不要なものと思ひ違ひそのまゝにしておいたので役場の戸籍簿には生存してゐる事になつてゐたため既に徵兵年齢に達したけれども居所不明で通知が出來ず所轄警察署と協力して調査した結果前記内郷村に居る事が判り二十一日本籍所轄警察署で平署にその旨通知があつた、平署は不要なものと思ひ違ひそのまゝにしておいたので役場の戸籍簿には生存してゐる事になつてゐたため既に徵兵年齢に達した前記の事情が判明したのでその旨回答した。

勝治は一風變つた男で大正元年長男を産み耐道と命名したがその年に死亡、大正三年に生れた子供にも耐道と同じ名をつけかくして三人の子供を産んだが何れも死亡して現在子供なしである。

經濟更生村に 指定される山田村

老級を排斥

山田村は明年度に於て經濟更生村に指定される筈で目下同村で年長男を産み耐道と命名したがその年に死亡、大正三年に生れた子供にも耐道と同じ名をつけかくして三人の子供を産んだが何れも死亡して現在子供なしである。

平町附近二十ヶ町村 連絡して身賣防止策

けふ平町で協議會 青森紹介事務局長臨席

平職業紹介所を中心とする隣接の連絡二十ヶ町村關係者協議會は二十二日午前九時から平町役場に開き五十余名出席、木田青森職業紹介事務局長が改正法規に關し詳細な説明をなし縣社會課小林屬が婦女子身賣防止に關する對策について意見をのべ連絡町村互に協調して紹介事務に當る事になつた。

四倉署で 交通取締

四倉警察署では去る十九日管内の自動車並に自轉車取締特別執行をはつた結果違反者二十三名を檢舉した

▲徵兵適齢者 双葉郡久之濱町に於ける昭和十年度の徵兵適齢者五十四名である

奇特な行商人 訓盲院生に足袋を寄附

磐城訓盲院に數日前行商人風のな人もあるものだと梅崎主事感男が來り盲生に足袋を寄附したいから足の大きさを教へて貰ひ度いといふので梅崎主事かその名を聞くと賣名と誤解されるのが心苦しいと打ち明けぬのでそのまゝにしておいた。過ぎ二十一午後その男が再び訓盲院に來り數日前の話の通り四十一足の足袋を寄附して立去つたが奇特激してゐる。

繁忙を極める 平紹介所

平職業紹介所は歳末に入つた十二月非常な繁忙を極めたが昨二十一日までの求人申込は片倉製糸の女工一百八十八名の外四百五十四件で千二百名を斡旋就職せしめた。求職者は採炭夫職工の四十六名の外九十九名で、その中六十名は凶作地からの申込みであつた。

電工 火傷を負ふ

電部電力株式會社四倉變電所見習職工四倉町仲町滿山權三郎二男利明（十七）君は二十一日午後五時半頃大浦村上仁井田地内電線に故障があるのを發見電柱に上り修理中高壓線に觸れ右手に大火傷を負ひ四倉町吉田醫院で加療中であるが全治一ヶ月を要すと。

盗んだ自轉車を 賣り飛ばして酌婦遊び

好間村大字愛谷無職山田文雄（十九）假名は十六日夜世界館前で中古自轉車に乘逃げし翌日三圓で賣却し酌婦遊びをしたのに味を占め十九日一丁目伊關呉服店前に同店の自轉車を盗み更に二十一日も同樣後拂つた事平署に探知され二十二日捕はれた。

『理髪東京』 愈々明日開業

平町に理想的設備を施した調髪所「理髪東京」が出現した。場所は平町三丁目警察署通り魚清前で、經營者水竹成夫君は今日まで東京市で理髪を開業してゐた人だけあつて五臺の椅子には全部ダブルミラー付き、按摩器その他總て東京式で、特に化粧品は高級なものゝみを用ひる事としポマードはメヌマポマード以外は使用せぬ由である。理髪東京の出現は平町理髪業者に大衝動を與へたものであらう。

明日開店
理髪 東京
東京
◎……メヌマポマード使用
平町三丁目警察署通り（魚清前）

平町吏員 ボーナス

平町役場では今二十二日吏員八十余名にボーナスを配つたが酒井助役が二百圓で最高は月給の九割最低三割平均五割であつた

不思議の話（2）

四倉署 阿部生

誠に滑稽の極ではあるまいか。又或る時我奏國を亡す者は誰れであるかと云ふ事を占者をしてトはせた、處が占者は胡と云ふ音が出ましたと答申した。始皇築するに其當時只今も殘つて居る萬里の長城より北方を胡國と云つて支那有史以來王帥に服せざる蠻强であつたから、夫れでは胡人の侵入を防ぐ爲國防上の必要とあつてあの五百里もあると云ふ長城を築いたのである。處が帝の次子に胡亥と言ふ人があつて此の人第二世を繼承したが、父君以上の暴政を布き憐むべし、楚人の一炬國を焦土にして仕舞つた。

占に現はれた胡は次子の胡の字であつたと言ふのである。

當用日記
懷中日記
特種專門日記
無慮百餘種
新年ふはがき
文字はがき
カルタ
トランプ
歳末年始
クリスマス
答贈品各種
和洋諸帳簿品々
マルトモ柴田書店
平町四丁目
電話（一二四番）（二三四番）

自由に持ち運びの出來る
丸八瓦斯ストーブ
料金瓦斯の三分の一
火力瓦斯の三倍
◎御座敷、書齋、サロン、に最も好適
書齋から客間、客間より寢室、一階より二階、或は都市から山間僻地といつた樣に何處にでも持運び自由である事が本品の重寶なる特色の一つであります。
◎体裁優美で油煙なく、電氣、瓦斯の樣にコードなく、部屋の隅々まで春の樣な暖さを充分行き渡せます。
◎カフエー、事務室、應接室、大廣間に最も好適。
◎色彩高級、黒チリメン結晶燒付。
販賣店　福島縣平町南町
タイルと壁材料　野内建材商店
電話平一一番

かまぼこ
折詰
製造
惣菜用
さつま揚
吉原揚
天源亭
平町一丁目（電話一四一番）

歳末御禮大賣出し
日ごろ御愛顧に酬ゆるため優良格安品
均一提供品豊富に取揃へて年末大奉仕
十二月廿三日ヨリ年内
ふかや洋服店
平三　電話二〇二番

内科
平南町（電二四三番）
川井内科診療所
川井安子

店主が店員を連れて行かれる
正シキ食堂
正シキ喫茶
正シキ酒場
平・田町
レストラン サロン
電三五二

醫物、おでき切らずに治る
ハレモノ良藥　八方散
水野藥局
平一　電六九九

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス
驛前
昭和タクシー
電話三三四四〇三番
一、充實セル タクシー部
一、高級大型團体遊覽車
一、乘合　豊間、江名、中之作方面　小名浜直通　霊峯岡物井線
一、貨物一般運送

外科　一般外科　内臓外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院
安齊外科醫院
電話四七五

吸入用酸素
純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

体温器
寒暖計

◎秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
◎寫眞機材料一式
開内藥局
電話四〇番

診療科目
一、齒科一般　保存科　補綴科　機工科　齒列矯正科　小兒齒科　齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向）
電話五〇九番

外科　内臓外科
レントゲン線
醫學博士　諸橋鐵彌
◁病室完備▷
◉新川町二七（電四六四）

本年の棹尾
謝恩赤札附大廉賣
期日　二十日ヨリ三十日マデ　十一日間
御神棚や御三寶を始め正月用品各種を取揃へ賑々しく大賣出し
三方桐タンス　九、〇〇〇
釣洋服タンス　二〇、〇〇〇
本箱　三、八〇〇
茶タンス　五、八〇〇
戸棚　三、八〇〇
椅子　一、八〇〇
卓子　三、〇〇〇
腰掛　二、〇〇〇
机　一、五〇〇
書棚　五、〇〇〇
應接用机　五、〇〇〇
御神棚　八、〇〇〇
御三寶　二、〇〇〇
御屠蘇道具　二、三〇〇
右用御銚子　九、五〇〇
右用盃台付　一、八〇〇
生花用籠　四、五〇〇
會席膳五人前　一、二五〇
吸物椀五人前　二、五〇〇
黒塗衣桁　二、五〇〇
斷板張　二、〇〇〇
賣出し中に限り（日用雜貨類）均一賣場特設
十錢均一
二十錢均一
三十錢均一
五十錢均一
價格以上の優良品堀出し物澤山あり
數に制限あり御早いが御徳で御座います。
受けて重寶……贈るに便利な
丸ほんの商品券　御利用下さい
丸ほん式釣洋服タンス製造發賣元
平町　丸ほん商店　電話三五九番

齒科　口腔外科
レントゲン科
平町土橋（電話三一番）
原齒科醫院
原精一
東京齒科醫學士　柏倉武男

◎新進の店
◎開業
公社債、勸業債券高價ニテ買受ケマス。
水戸市ヨリ來マシタ株式店ヲ御利用願ヒマシ。
公債、社債株式實物賣買
友部株式店
平町三丁目
電話一七七番
◎株は一株から
◎堅實な店
◎債券は一枚より